

## 平成28年度事業評価報告書（施設名 高知県立甫喜ヶ峰森林公園）

項 目	評価できる取り組み等	改善すべき課題
1 管理運営に関する評価	限られた職員体制ではあるが、関係団体とも連携を図り、広範囲である公園の適切な管理運営を実施している。 アンケート結果を分析し、次に生かす取り組みを考え実行している。	キャンプ場利用者が増加するなど利用者の傾向が年々変わってきている中で、どのように対応していくのかを今一度整理し直す必要がある。 今の体制では難しい部分もあるかと思うが、人材の育成や研修、職員の人員体制を考えるなど、さらなる工夫を望みたい。
2 事業実施に関する評価	学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っており、HPの改修・新しい冊子（ほさがみね森のデザイン手帖）の作成など、さらなる改善努力も見られる。	今よりさらに学校関係の方たちに来てもらえるような積極的なアプローチによるニーズの掘り起こしを期待する。 森林公園というフィールドを生かした、ここでしかできない体験をもっと打ち出してほしい。
3 利用実績	来園者数は前年度より245人増の54,536人、キャンプ場利用者は366人増の5,310人と、増加傾向にある。	
4 収支の状況	経費削減のためにボランティアなどの協力で草刈り・清掃活動を行っている。	
総合評価	<b>B</b>	①学校等に対し体系的な森林環境学習プログラムの提供を行っており、HPの改修・新しい冊子の作成など、さらなる改善努力も見られる。 ②限られた職員体制ではあるが、関係団体とも連携を図り、広範囲である公園の適切な管理運営を実施している。 ③キャンプ場利用者が増加するなど利用者の傾向が年々変わってきている中で、どのように対応していくのかを今一度整理し直す必要がある。 ④森林公園というフィールドを生かした、ここでしかできない体験をもっと打ち出してほしい。 ⑤人材の育成や研修、職員の人員体制を考えるなど、さらなる工夫を望みたい。

- 【評価の基準】 A:仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの  
 B:おおむね仕様書の内容とおりの成果があり、適正な管理運営が行われたもの  
 C:仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力及び改善が必要なもの  
 D:管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの

### 業務の改善についての意見

改善を求める事項
キャンプ場利用者が増加するなど利用者の傾向が年々変わってきている中で、どのように対応していくのかを今一度整理し直す必要がある。
今後、充実させて取り組むべき事項
①今よりさらに学校関係の方たちに来てもらえるような、積極的なアプローチによるニーズの掘り起こしの実施。 ②森林公園というフィールドを生かした、ここでしかできない体験の打ち出し。 ③人材の育成や研修、職員の人員体制を考えるなど、さらなる工夫を望みたい。